

社会資本整備審議会 道路分科会 東北・北陸地方合同小委員会  
第1回日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろば～温海」WG

## 議事要旨

1. 日 時 平成23年10月12日(水) 13:00～15:00
2. 場 所 朝日みどりの里・体験交流センター
3. 出席者  
[委員長]  
大川 秀雄 新潟大学 工学部 建設学科 教授  
[委員]  
加賀谷 聡一 酒田商工会議所 青年部会員  
丸山 結香 (有)MAX・ZEN Performance Consultants 代表取締役
4. 議 事 内 容  
審議結果  
議題(1)  
・WGの進め方について事務局より説明後、了承された。  
議題(2)  
・第1回東北・北陸地方合同小委員会での主な意見と対応方針について事務局より説明後、審議を行い、意見をいただいた。  
議題(3)  
・意見聴取の方法について、事務局より説明後、審議を行い、意見をいただいた。

地元の方に供用までの見通しを示すことが重要ではないか。

「計画段階評価」は言葉が難しいため、「朝日 IC まほろば～温海 IC の計画をしています。皆さんの御意見を聞くためのものです。忌憚のない意見をお寄せください」といった表現が良いかもしれない。行政にとってはアンケートの位置づけを明確にすることが大事だが、一般の方は自分たちの意見が反映されればよく、一般の方にはあまり関係のない話。

計画区間の沿線は高齢者が多いため、「計画段階評価」の説明部分を省いて文字のポイントを上げた方が良い気がする。

ルート案については多数決の原理で話が進むわけではないことを住民に伝えるやり方をしておかないといけない。

「説明会」は、一方的な感じがする。意見を述べやすい雰囲気ができるような言い方を工夫した方が良いかもしれない。ご意見を聞くという位置づけがあった方が良いかもしれない。

秋田・酒田・新潟港の3港は、日本海側拠点港に応募しており、特にコンテナについては目標数値の計画を作って公表している。第1回小委員会指摘事項の対応（資料2-2）では、これらの数値を参考に整理してはどうか。

観光事業者からヒアリングしてみると、高速道路の開通により首都圏の観光客の増加、北陸の交流が強まるという意見であった。広域の方から意見をもらうため、観光協会や観光組合などのホームページにもバナーを付けてもらうことも良いのではないか。組合や協会の関係者が積極的に回答してくれる可能性もある。当社にも要請があれば、協力するので活用してはどうか。

説明会については、対話型にして双方向のやり取りを行い、意見をもらえるような説明会にして欲しい。

マスコミの方には、一般の方も理解出来るような表現で、記事を書いてもらうと良いと思う。

事業の期間は、いくつかの事例を示しながら丁寧に説明していくプロセスが大事だと思う。

回答の動機付けの1番は、わかりやすさ。「評価」という言葉は、一般の方の腰が引けてしまうため、「評価」という言葉は避けた方が良い。

地域には高齢者が多いため、計画段階評価などの一般的ではない言葉はもう少し噛み砕いて表現したほうが良い。

設問の内容や順番は良い。非常にフェアな内容である。チラシは文字が小さく高齢者の負担が大きいと思う。文字はもう少し大きく、言葉もシンプルにしていくと良い。不足する情報は説明会で丁寧に説明してはどうか。

問い合わせの電話番号は直通とし、アンケートに関するお問い合わせの担当者名（3名程度）を記載した方が良い。

アンケート調査では読み取れない、その他の意見が後々の計画に役立つことが多い。一般の方に対して、フォーカスインタビューやディープインタビューを実施してみてはどうか。

これらのインタビュー参加者は、極端な賛成者や反対者を避け、老人会の代表や幼稚園・小学校のPTAをしているお母さんのなどに参加して貰い、思いを聞くのも今後の計画を考える上では役に立つ。

アンケートは双方向のコミュニケーションとはならないため、住民の代表などの顔を見ながら話を聞くなど、住民から信頼を得ることや、地域住民のための計画であることを踏まえ、丁寧な意見聴取が必要なのではないか。

第1回小委員会による計画への着手など、地域の方は新聞・テレビなどマスコミから得ている情報が多い。地域の方が誤解を招かないように表現をわかりやすくしていただくなど、マスコミの方の力を借りていく必要があると思う。

以 上